

## 1 和光市災害時通訳・翻訳ボランティアの確保、研修の実施

### 和光市災害時通訳・翻訳ボランティアの運用方法について

#### (1) 第5回懇話会会議での意見

- ・登録しているボランティアへのマニュアル等の認知、コミュニケーションを図ることが必要である。
- ・国際ネットワークに加入してもらうなど、ボランティア同士の交流を図ることが必要である。
- ・災害時にボランティアの配置について、優先順位を定めておかなければならない。
- ・月に1回程度、外国人が集まれるようなイベントがあると良い。
- ・普段からボランティアの方々と交流や研修する機会があれば災害時の備えになる。

## 2 緊急時における外国籍市民の意見・要望の把握

### 意見・要望の調査方法について

#### (1) 第5回懇話会会議での意見

- ・留学生のコミュニケーションは強い。
- ・外国人に必要な資料を配付するのに、自治会や民生委員を活用する。
- ・若い世代を含め、日頃から交流をもてる機会が必要である。

#### (2) 埼玉県が実施したアンケート調査

##### 資料2参照

平成23年度第1回外国人県民県政モニターアンケート  
ー外国人の防災対策についてー

##### ア 調査の目的

県が在住外国人をはじめとする多文化共生推進施策をすすめていく上での参考とするため、アンケート調査により外国籍県民の意見・要望を把握することを目的とする。

##### イ 調査期間

平成23年7月29日（金）～8月19日（金）

##### ウ 調査対象

外国籍県民県政モニター 109名

##### エ 調査方法

インターネット調査・FAX・郵送による調査

##### オ 回答者数

86名

### 3 災害時の情報発信

#### 発信手段や発信内容について

##### (1) 第5回懇話会会議での意見

- ・ face book や Twitter などの SNS を使った発信方法が、早く情報を伝達することができる。
- ・ 和光市のホームページは、必要な情報がすぐに分かりづらいので、整理して分かりやすくすることが必要である。
- ・ 外国人同士が連絡を取り合えるようになるイベントを開催する。
- ・ メーリングリストを作成し、災害情報を送信する。
- ・ 海外と連絡を取るときに Skype、MSN がよく使われるので、そのようなツールを活用する。

### 4 避難用多言語シートの設置

#### 災害時に有効に機能させるには

##### (1) 第5回懇話会会議での意見

- ・ 和光市のどこに外国籍市民が多く住んでいるか調査することが必要である。
- ・ 普段からの心がけと災害の意識を持ってもらうことが重要である。
- ・ 会話セットに何が書いてあるのか分かりづらいので、表記に工夫が必要である。
- ・ 緊急時に使用するシート、それ以降に使用するシートと分けて対応する。
- ・ 各地域のホームページでは、大震災での成功事例等が掲載しており、他の地域における成功事例からファクトファインディングすることも必要である。
- ・ 大規模な災害では近隣市との関係も重要である。